平成24年度各会計決算を認定

9月定例議会が8月27日に招集され、9月19日までの24日間の会期で開かれました。上程された議案は、人権擁護委員候補者の推薦や平成24年度一般会計および各特別会計決算認定、平成25年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など21件と議員提案3件です。すべて原案のとおり可決・認定されました。

上程された主な議案

◇人権擁護委員候補者の推薦

12月31日で任期満了となる森りえ子氏（大須郷）を、引き続き候補者として推薦することについて同意されました。

この後、法務大臣より正式に委嘱されます。

◇市有財産の無償譲渡

都市公園「飛ヶ崎街区公園」の用途廃止に伴い、飛自治会に無償譲渡するものです。

無償譲渡する財産　土地
所在　飛字飛ヶ崎121番地6
地目　池沼（現況…原野）
地積　1、000㎡
譲渡相手　飛自治会
会長　佐藤正春

◇市道路線の認定

宅地開発に伴う寄附受入れ道路（延長47m、幅員6m）を市道として認定するものです。

路線名　堀ノ前3号線
起点　院内字堀ノ前12番2
終点　院内字堀ノ前12番1

◇平成25年度一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出とも6億1、649万3千円を追加。予算総額は144億999万8千円となります。

【主な歳出】
・にかほ市元気づくり応援事業交付金　100万円
・商工会共通商品券補助金　300万円
・観光拠点センター（仮称）基本設計委託料　477万8千円

市政報告
～市長市政報告より抜粋～

●普通交付税

25年度の普通交付税は、53億8、656万2千円と算定され、前年度確定額に対し7、436万9千円（1・4％）の増となっています

●市税の状況

7月末における調定額は、個人市民税で約9億8、400万円（対前年度比2・5％減）。法人市民税は約2億1、000万円（対前年度比202％増）となっています。固定資産税については約13億6、400万円（対前年度比0・7％減）となっています。

法人市民税の大幅な増額は、TDKグループの決算が確定したことにより、グループ内の法人に法人税割額が生じたためによるものです。

●離職者の状況

7月末現在、市内主要企業の生産拠点再編に絡む関連企業の離職者は、にかほ市、由利本荘市の両市全体で666人となっています。

市在住の離職者は380人で、この内、再就職した離職者は250人（離職者の66％）となっています。現在、ハローワークに登録し、職を求めている市内の離職者は、101人（離職者の27％）となっています。

●高校生に対する求人状況と雇用環境

来春の高校卒業予定者に対する求人受付は、6月20日よりハローワークで開始されています。

7月末現在、ハローワーク本荘管内での受付状況は、40事業所106人と、昨年同期を3割ほど上回っており、ここ数年、高校生に対する求人状況は改善傾向にあります。

しかし、本荘由利地域における有効求人倍率は6月末で0・38と、県内の有効求人倍率と比較して雇用環境に開きがあることから、来春、高校卒業予定者の就職希望は、県内希望者が56％で、前年の80％から大きく減少しています。

景気が回復傾向にあり、雇用環境が改善した都市部を志望しているものと思われます。

●熱回収施設等建設事業

6月20日から7月19日まで生活環境影響調査結果の縦覧を行い、その後、8月2日まで縦覧結果について意見書の受け付けを行いました。その結果、縦覧に訪れた方は4人で、意見書の提出はありませんでした。

縦覧期間中に、金浦地区自治会長会に調査結果の説明会を開催しました、その後、個別に要請があった、前川・赤石の両自治会に説明会を行ったところ、いずれの説明会でも、問題となるような質問、意見等は無く、今後、事業を進めるにあたり、市民の理解を得ることができたと考えています。

今後は、本施設の建設候補地である「金浦字轄町」地内を建設地として、平成28年8月の本格稼働に向けて事業を進めて参ります。

●介護職員初任者研修支援事業

今年4月から、これまでの2級ホームヘルパー研修が一新され、介護職員初任者研修として新たにスタートしています。

従来に比べ受講科目が多くなり、受講者にとっては経済的負担と時間的負担が伴うことから、介護職への就職を目指している高校新卒者や若者などを始め、勤めながら資格取得を考えている方への支援を、10月から計画しています。

内容は、受講費用等に対する、無利子資金・貸付制度の創設。市が準備する研修会場と設備を、県の指定を受けた介護職員初任者研修事業者に提供し、これまで無かった市内での研修講座の開設により、受講しやすい環境を整備します。

●民生委員・児童委員一斉改選

民生委員・児童委員並びに主任児童委員の任期が、本年11月30日までとなっているため、一斉改選に向けて候補者の推薦事務を進めています。

改選後におけるにかほ市の定数は、3地区それぞれ2人の主任児童委員を含め、仁賀保地区が32人、金浦地区が14人、象潟地区が40人の計86人です。

●にかほ市観光拠点センター（仮称）

建設にあたっては、由利地域振興局とも協議を重ねており、「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」に採択して頂くよう準備を進めています。

現状の直売施設の改修だけでなく、仮称「にかほ市観光拠点センター」として、道の駅象潟「ねむの丘」に隣接して建設し、観光情報発進や地域コミュニティ活動の拠点として、一層の機能充実に努め、交流人口拡大による地域の活性化に繋げて参ります。

●日沿道「遊佐象潟道路」の進捗状況

7月11日から三会場で、延べ4回にわたり、秋田県区間の測量、地質調査、立ち入りの説明会を開催しています。

会場には、用地、地区関係者、延べ223人が来場し、測量、地質調査の内容や、開通までの事業の進め方についての説明を行い立ち入りの了承を得ています。

測量等の調査期間は、8月から来年の1月までの約半年間を予定しており、田圃などの農地については、収穫後の調査となります。

象潟ICまでの早期開通、並びに県境区間の早期完成に向けて、引き続き、政府与党並びに国土交通省など、関係機関に強く要望して参ります。

教育行政報告
～教育長行政報告より抜粋～

●院内小・小出小の統合準備

平成27年4月の統合に向け、第1回統合準備委員会を6月26日、第2回を7月23日に開催し、会則の承認、正副委員長の選任を経て、委員会に作業部会を置くことを確認しています。

作業部会は大きく2部に分かれ、学校間での検討と摺合せ協議が主になる内容を担当する部会と、学校と保護者など地域との調整のうえ進めるべき案件を主に担当する部会で構成されます。

両校の校長がそれぞれの部会長、教頭が事務局となり、各部会の大まかな担当作業内容を確認して、作業を始めています。